

# 2・26労組活動家懇談会に結集しよう

とき 2月26日  
午前10時～午後6時  
ところ 船橋商工会議所ホール  
国電船橋駅(南口)  
下車10分



84. 2. 17

No. 1566

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)公衆〇四七二(22)七二〇七

## たたかろう労働運動の拡大をかちとろう

動労千葉は全国の労働者に呼びかけ、二月二十六日、船橋商工会議所において「第四回八〇年代をたたかう労組活動家懇談会」を開催します。  
3・25三里塚への大結集を実現し、たたかう労働運動の全国潮流形成にむけて、2・26集会の大成功をかちとろうではありませんか。

### 延命の道を「戦争」に求める帝国主義

滅びゆく帝国主義の下で、米帝・レーガンは矛盾の解決―危機突破の道を戦争という暴力的手段に求め、世界のいたる所で戦争の火種をばらまいています。

日帝・中曽根もまた体制的危機の深刻化の中で、「戦後政治の総決算」に延命の道を求め、大反動攻撃をかけてきています。

すなわち、財政危機の破局的激化―自民党支配の危機を、戦後的支配のあり方を根底からぶち壊し国家体制の大転換でのりきろうとする攻撃です。まさに、逆回転を開始した歴史の歯車が、ギリギリ音をたてながら、いまにも砕け散ろうとしているのです。

### 総屈服を深める労働運動

すべての闘う仲間の皆さん。私達は、生活の基盤のすべてを破壊されかねない、重大な局面にたたさされているのです。敵の側からの戦後史を画する「革命」に対し、高度経済成長に依拠した体制内改良運動はまったくの対応不能におちついているばかりか、支配の側に身をすり寄せて延命しようとしています。とりわけ動労「本部」革マルにあつては、「冬

の時代だから闘うべきではない」と労働者の決起をおさえ、「闘う者は挑発者だ」と、闘う労働者の背後から襲いかかっています。そればかりか、「働こう運動」路線のもと国鉄当局に率先協力し、国鉄労働運動破壊に血眼になっているのです。

### 「国鉄・三里塚を闘う労働運動」路線の正義性

いまこそ、総屈服を深める日本労働運動の戦闘的大転換をかちとり、日帝・中曽根の大反動攻撃と真向から対決し勝利できる路線と指導が求められています。その崇高な任務を担いぬける者こそ、わが動労千葉であることを大胆に、誇りをもって確認しようではありませんか。

動労千葉は「三里塚と国鉄を基軸に闘う労働運動」路線のもと、81・3ジェットストを実現し、この地平のうえに中曽根―国鉄当局の攻撃と対決し勝利的に闘いぬぎ、動労「本部」革マルを確実に追いつめています。

動労千葉の路線の正義性―勝利性はますます鮮明となっており、2・26集会に結集し、たたかう仲間の経験と教訓を交換し合い、その中から闘う労働運動の全国潮流の拡大をかちとろうではありませんか。三里塚春闘の爆発をかちとろう。動労千葉を先頭に、三里塚を闘う労働者本隊の大隊列を、3・25三里塚に登場させよう。

### プログラム

- 呼びかけあいさつ  
国鉄千葉動力車労働組合  
執行副委員長 水野 正美
- 基調提起  
国鉄千葉動力車労働組合  
書記長 布施 宇一
- 講演  
「80年代労働運動の課題」  
高島喜久男
- 賛同人あいさつ  
およびメッセージ紹介
- 三里塚からの訴え  
三里塚芝山連合空港反対同盟  
事務局長 北原 敏治
- 問題提起
- 各産別・職場報告  
国労、動労、全通、全電通、  
教組、自治労、都市交、国公、  
政労協、日放労、私鉄、全造  
船、電機、化学、石油、食品、  
出版、一般、他
- 討論
- 討論集約  
国鉄千葉動力車労働組合  
執行委員長 中野 洋